

はじめに

保育所は、乳幼児が一日の大半を集団で生活する場であり、子どもの健康面におけるきめ細かな配慮は欠かすことができません。また、乳幼児はさまざまな感染症にかかった経験も少なく、一度感染症を発症すると体力的にも年長児等と比較して症状が重く、長引きやすいということがいえます。保育所は、年間を通じてさまざまな感染症が流入し、蔓延する場です。したがって、保育所では、施設長や保育士をはじめとした職員が感染症に対する正しい知識を持ち、その予防に努めるとともに、発症時における適切な対応をすることが求められます。

全国保育協議会では、保育所および乳児院の関係者を対象に、保育所における保健・衛生を中心とした知識および活動を学ぶ目的で、毎年「保育所保健・衛生専門研修会」を開催しています。研修会では感染症をテーマとしたプログラムも取り入れておりますが、例年参加者の関心も高く、質疑応答等多数寄せられます。

本書は、国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官安井良則先生が、平成19年6月11日に行った「保育所保健・衛生専門研修会」のレクチャーフォーラム「感染症の知識と対応」の内容をもとに加筆修正し作成したものです。保育所で必要とされる感染症の基礎知識とその対応について、分かりやすくまとめるとともに、よくある質問をQ&A方式で整理しました。ご活用いただき、貴保育所の感染症対策の一助としていただければ幸いです。

最後に、出版にあたり多大なるご協力をいただきました安井良則先生に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成20年6月

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育協議会